

2024年4月1日～2026年3月31日の間に福山市民病院において栄養サポートチーム（NST）による管理を受けられた方へ

—「当院における栄養サポートチーム（NST）活動の変遷と今後の課題

～電子カルテスクリーニングと GLIM 基準を用いた能動的 NST 介入の効果：従来型依頼方式との比較検討～へご協力をお願い—

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は、当院倫理審査委員会において倫理的および科学的に問題がないか審査を行い承認され、院長の許可を得ています。ご理解とご協力をお願いいたします。

研究機関名	福山市民病院	栄養サポートチーム（NST）	
研究代表者	福山市民病院	栄養管理科 管理栄養士 村上 尚美	
研究責任者	福山市民病院	麻酔科 科長・集中治療室 室長 石井賢造	
共同研究者	福山市民病院	栄養管理科 管理栄養士 渡邊優美	福山市民病院 リハビリテーション科 医療技術部長 藤井俊宏
	福山市民病院	西館6階病棟 看護師 坂本理恵	福山市民病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 徳永桂子、松崎圭佑、山崎奈津美
	福山市民病院	薬剤科 薬剤師 前原健司	福山市民病院 歯科口腔外科 科長 山本大介
			福山市民病院 救急科 副センター長・統括科長 柏谷信博

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

当院では、医師や栄養士、看護師などが協力して、患者さんの栄養状態を良くするためのチーム「NST（栄養サポートチーム）」が活動しています。これまで、主に担当医などからの依頼を受けて活動していましたが、2025年2月からは電子カルテのデータから栄養不足の恐れがある患者さんを自動的に探し出す新しい方法（スクリーニング）を導入しました。この研究の目的は、新しい方法によって、より多くの必要な患者さんに、より早くチームが関われるようになったかどうかを確認することです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究の結果、栄養不足の患者さんを早く見つけ出してサポートする仕組みの効果が証明されれば、今後、より多くの患者さんの回復を助けることにつながります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024年4月1日～2026年3月31日の間に、福山市民病院においてNST（栄養サポートチーム）が関わった患者さん320名を対象とします。

2) 研究期間

2026年6月1日（倫理審査委員会承認日）～2027年3月31日

3) 研究方法

過去の診療記録（カルテ）を振り返って調べる研究です。2024年4月1日～2026年3月31日の間に当院でNSTのサポートを受けた方のカルテから、栄養状態の変化や、チームが関わり始めるまでの日数などのデータを集めて分析します。

4) 使用する情報

以下のカルテ情報を抽出して使用します。あなたのデータからは、氏名やIDを取り除き、個人が特定できないよう別の番号をつけて、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢、性別、身長、体重
- 病名、栄養の摂取量、入院期間
- 血液検査データ（アルブミン、CRP など）

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究結果が公表されてから3年間、福山市民病院の栄養管理科内で保存します。電子情報はパスワードで守られたコンピューターに、その他の資料は鍵のかかる保管庫に保存します。二次利用の予定はありません。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人が特定できない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年8月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

福山市民病院 栄養管理科 村上 尚美
電話：084-941-5151